

## 第7回赤穂海浜公園管理運営協議会 議事録

日時：令和5年9月25日（月）14:00～16:00

場所：赤穂海浜公園オートキャンプ場会議室

出席者：別添出席者名簿参照

配付資料：資料1 第6回協議会での意見と回答

資料2 リノベーション実施計画概要

資料3 各ゾーンの今後の利活用に向けての条件検討図（案）

資料4 プラットフォームの仕組み作り

資料5 インクルーシブプレーパーク開催

資料6 赤穂海浜公園シーサイドデイキャンプ&手ぶらで楽しめるBBQ

参考資料1 赤穂海浜公園管理運営協議会 開催要綱

参考資料2 第6回管理運営協議会 議事録

### 1. 開会/事務局

開会挨拶 赤穂海浜公園管理事務所所長

省略

会長

省略

### 2. 赤穂海浜公園管理運営協議会について/事務局

#### (1) 第6回協議会での意見等、議事録の公表/事務局

・資料1、参考資料1、参考資料2を説明

委員

アドプト活動では、集めたゴミの処理までお願いできるのか。

事務局

アドプト活動でのゴミの処理については、光都土木事務所と赤穂市との協議になる。

会長

他の協働事業でもよくあることだが、草を刈るところまではするので、あとはパッカー車でゴミを集めて欲しいということがある。是非ゴミの処理について、ご検討をお願いしたい。それから、紹介されていた、ふるさと海岸の清掃について教えていただきたい。

イベント募集のバナーについては、人を集客するイベントだけを募集しているのではなく、自主活動などいろんな活動を受け入れることが分かるよう、「イベント募集」という名称ではない方が、主旨が伝わりやすいと思う。これから、事業者の方も地元の子ども会もいろんな方を受け入れる工夫をしていただきたい。

事務局

ふるさと海岸は、地元の方に草刈りなどをしていただいております、活動に使う道具を県で支援させていただいている。

イベント募集という名称については、検討させていただく。

**委員**

植栽の伐採につて、伐採率を示してはどうかと言ったのは、ここにある木がどれくらい減ってしまうのだろうと、利用者の方が不安に思われるのを緩和し、納得してもらうことが大事だからである。枯れた木を伐っていることが伝わればそれでよい。

ホームページに、「枯損木を伐っています」とあるが、分かりやすい言葉で「枯れた木を伐っています」と広報をされた方がよいと思う。

### 3. 議事

#### (1) 赤穂海浜公園リノベーション実施計画/事務局

・資料2を説明

**会長**

ご説明いただいたリノベーション実施計画の中間報告について、ご質問、ご意見をお願いします。

リノベーションというと、新しいカフェなどができるというイメージがあるかもしれないが、そちらは民間活力の導入の方での提案となる。リノベーション実施計画では、地の部分、公園のいいところを最大限にいかにかききるという観点で、軸線を通して、周りに輪をつくって、いいところを繋げて、植栽帯も良くしていこうというような事を計画されているが、いかがでしょうか。

私から参考意見として一つ。植栽帯の部分をよくするために、中低木を伐っていくことになると思うが、木陰でゆっくりすごそうと思うと、高木も多い気がする。例えば、高さが6~8mの木があるとすると、上から見た直径も6~8mになる。そうすると、10m四方のコドラートの中に高木が3本あれば、全体が覆われてしまう。場所によって、森のように見せる場所なら、少し密に高木があってもいいかもしれないし、ピクニックができる広い樹林にするなら、もう少し高木をすいてもいいかもしれない。残した木は、樹冠を大きく育成する前提でされるとよい。そして、皆が納得するように、これからこうなっていくと理解してもらえるように、伝えることもあわせて計画をつくとよいのではないか。

**委員**

潮の門へは、公園中から行くのではなく、駐車場から唐船ビーチへ行く道になるのか。

**事務局**

そうである。園内路からも繋がってはいるが、基本的に駐車場から行く道になる。

**委員**

地元の方は、公園に自転車で来ることになるが、西駐車場を通り抜けてビーチに自転車でなかなか行けない。ビーチの掃除をすとしても、自転車で行けない。潮の門のところに自転車置き場があれば、地域の人もしやすくなる。

**会長**

海に行きやすくするという事は、いろんな角度から考えた方がよい。

**委員**

柵を取れば、景観として見渡せて良くなっていいのではないかと思います。しかし、漁港の方で野良猫が繁殖しており、もし、柵やフェンスがなくなると、園内にも野良猫の繁殖が増えるのではない

か。かつては、公園内に野良犬が繁殖している時もあった。

**会長**

何か対策ができないだろうか。例えば、神戸や大阪では、野良猫の避妊手術をする活動をされている NPO などがある。

**委員**

野良猫の避妊手術をされている NPO 団体がおられるが、追い付かない。餌をやりに来る人、猫を捨てにくる人がおり、キリがない状態である。

**委員**

植栽環境の改善について、高木の樹木密度は、10 m<sup>2</sup>四方に3~4本が妥当なところだと思う。資料2の断面図Aは適正に感じるが、断面B、断面Cに関してはやや多い印象がある。公園ができる時に植栽してから長い年月が経っているので、適切な密度にしていくこと、高木の数なら伐採率も出せると思うのでおおよその数、緑の量としては変わらないことを伝えればいいのではないかな。

資料に、高茎雑草が繁茂していると書かれている部分も、当初に植栽したノジギグなど残した方がいい植栽もあると思うので、目標植生を定めて作業を進められたらよいのではないかな。

**会長**

民活の時にこちらから条件を出せば出すほど、民間事業者には、どんな環境か調べてこんな使い方をしようという提案を考えていただけるだろう。何も分からず、見えそうにない森にしか見えなければ、林間を使う提案などは出てこないと思う。民間事業者の募集の際に、できるだけ前提としてリノベーション計画の状況を伝えられるとよい。

## (2) 民間活力の導入に向けて/事務局

・資料3を説明

**会長**

民間活力の導入は、制度的には、行政だけではできないことを民間のノウハウを使っていただくということが主旨である。よく勘違いをされて、コストカットのために使って、総務省から怒られるという事がある。我々は、どうしたら民間事業者が、私たちが想定する、もしくは想定している以上の提案を出していただけるか、ということを考えることになろうかと思う。

条件検討図を見ると、最低限の条件だけを書いているように見える。自由度を上げるという観点からは、やってもいい事も書ければよい。例えば、赤湖、白湖のところでは、あり方検討で意見があった冬場は鳥がいるので利用しないという意見の方だけを書いているが、もともとは夏場はレジャーで思いっきり楽しもうという事とセットで、冬場は鳥のことを配慮しましょうという事だったと思う。広げる方も書いていただくとよいのではないかな。

駐車場についても、駐車場機能の維持というのは、おそらくイベント時は足りないくらい駐車場が埋まるが、そうではない比較的空いている時は、駐車場の活用も可能ということを書ければ、民間事業者にとっても創意工夫ができるのではないかな。例えば、大阪府の例では、駐車場が空いている時は、何に使ってもいいですよとか、料金を下げてもいいし、軽トラックで乗り入れてファーマーズマーケットの会場にしてもいい、協議の上で違う用途に使ってもいいという事が書かれている。

やっではいけないことも、先に書いておかないと民間事業者の方も困ると思うので、これだけは守って欲しいところを示すことも大事だと思う。

**委員**

やっではいけない事は、都市公園法と県の条例、公園のルール、管理運営協議会などでいただいた意見といったところであるが、やっでもいいよということを出す事が、躊躇われることがある。やっでもいいことを書くと、その提案をしなくてはと思われるのではないかとということがあある。やっでいいことの出し方が難しい。その辺りのバランスについて、事例を教えていただけないか。

**会長**

バランスは、いつも悩むところ。確認ですが、民間活力の提案の募集方法は、プロポーザルになるのか、指定管理者の募集になるのか。プロポーザルなら、事業者を選ぶだけなので、思いっきり提案をしていただいて、やっぱりこうしましょうと相談できる自由度が高い。コンペや指定管理者の場合、面接で言った事も約束事になってしまうと、手堅い提案でこられる。自分達がやりたい事よりも、選んでもらえるであろうという提案に寄せてこられるということもある。

**委員**

公園全体は指定管理者で、自由広場をどうするかはまだ確定していないが、基本的には民間事業者に独立採算でしていただくことを検討している。自由広場以外のところに何かつくりたいという提案も、認められるようにしたい。自由広場の提案が必須で、それ以外も使える自由度も与えたいと思っている。

**会長**

その二つを同時にするか、バラバラにするかもまだ決まっていないということか。

**委員**

公園一体を1つの事業者でする方が効率的なので、同時にしたいと考えており、調整をしているところである。

**会長**

自由広場の部分はこれからの検討で自由度を上げる事はできるが、それ以外のところは指定管理者になると提案した事を原則やっでいただくという制度になり、例えばこんなことができると書くと、その内容に提案を寄せてこられる事業者の方が多くなると懸念される。あまり書かず、それも考えてねという出し方がいいかもしれない。

**委員**

やっでもいいよという事を提案してきてしまっで、逆に縛ることになるのではないか、でも逆に書いておかないと怖くて提案できないのではないか。

**会長**

指定管理者の場合、どちらかというあまり書かずに、提案に任せる方がいいような気がする。

**委員**

民間事業者からの提案は、リノベーション実施計画についてどの程度分かった上での提案になるのか。リノベーション実施計画の内容と民間事業者からの提案が、重複しないだろうか。

**事務局**

リノベーション実施計画は12月末までにまとめ、民間事業者の募集は4月になるので、リノベーション実施計画の内容を盛り込んだ状態で募集することができる。

**会長**

リノベーション実施計画の内容で、指定管理者が行う維持管理以外の内容は、県が実施するという理解でよいでしょうか。

**事務局**

ハード整備については県が実施する。

**会長**

民間事業者は、そのようなハード整備があるということを知ったうえで、提案するということになる。

**委員**

干潟ビオトープがつくれそうな場所があるという事に対して、赤穂海浜公園の自然資源を生かした環境改善などの提案を求めると書いてあるところが、ちょっとした地形改変を含むハードの改善が含まれてきそうに思う。それであれば、リノベーション実施計画の中で、そういうハード整備をしてしまった方がよいのではないか。

**事務局**

そこはまだ、どちらですか整理ができていない。民間事業者が、学識や市民団体と連携しながら改変していくというパターンも考えられる。ただ、それがコンクリートを剥してするような大工事になった時にどうするかというところは、土木と要調整かと思う。

**会長**

民間活力を導入するにあたって、前提条件やどこまで整備されたうえで提案を求めるといふことが分からないと提案のしようがないということで、この二つの事業をすごいスケジュールで準備していただいて、今話しているような正しい順番で実施できることになったという経緯がある。

民間活力の導入のビジネスモデルとしては、大きく二つある。一つは、公園をよくするため、公園と関係性を持った施設をつくり、公園を総じてよくするというタイプである。もう一つは、公園と一見関係ないのではないかと施設を整備し、そこでかなりの収益を上げ、そのお金を経済的に公園に還元して公園をよくするというものである。その場合、地元企業ではなく、大手チェーン店のような会社を入れる方が、何かあった時に補填やサポートがあり安定感があるというところを、どこまで制限をつけるのかということがある。

例えば、ある公園では、民間事業者が公園全体への投資も管理もしてもらうことになり、大きな温浴施設ができた。温浴施設と公園にはあまり行き来がないが、そこで儲かった利益を公園に還元している。その公園はとて大きな公園なので、温浴施設ができて、公園としては変わることがないが、赤穂海浜公園の場合、それが許容できるのかということも、考えていかなければならない。

ビジネスモデルは否定できないが、公園と切り離され、この施設にだけ来て公園に行かずに帰るというのではなく、この施設ができたから公園もよくなったという関係性を、しっかり説明していただける提案を求めた方がよい。少なくとも、公園がよくなるという提案をしていただ

く、という書き方は必要である。

### (3) プラットフォームの仕組みづくりについて/事務局

・資料4、資料5を説明

委員

地元なので、是非協力させていただきたい。候補日に挙がっている11月25日は、地元で500人規模のウォークラリーのイベントがあるので、参加者が集まりにくいと思う。

委員

土曜日は仕事をされている方もおられるので、日曜日に開催する方がよい。

事務局

日曜日に開催できるよう、日程を調整させていただく。

会長

開催時期については、プラットフォームの参加者が、プレーパークにも参加できるよう、第1回目か第2回目のプレーパークの開催日までにはできるとよいのではないか。プレーパークに参加していただくことや、プレーパークにあわせて、何か自分がやりたかった事をやってみるということもできると思う。

プラットフォームでいろんな活動のアイデアが出てきたら、それをしやすくするために、どう公園の使い勝手をよくするかついて、別途考える機会があった方がよい。もしくは、それもプラットフォームで話し合ってもよい。

委員

事例で紹介された企画は、主に子どもを対象としているのか。大人や親子が楽しめるものがないのではないか。親だけを対象にしたものは、されたことはあるか。

事務局

事例で紹介したものは、特に子ども向けというわけではなく、大人、親子も参加され、楽しんでおられた。親だけを対象にしたものはしたことがないが、青空の下でマージャンをしてみようとか、公園のウッドチップで燻製をつくってみようといった、大人向けの企画はあった。

委員

意見の抽出は、大人だけを対象にされているのか。

事務局

森の会議の参加者は、大人が多いが、子どもや親子で参加される方もおられる。

会長

やり方はわからないけれどやってみたいということに、周りの人が、じゃあこうやったらできると、その指に止まってあげるといことがある。

事例の尼崎の森中央緑地は、工業専用地域の先端にある。周りの工場の従業員の方が公園に来て欲しいということもあって、確か森の運動会の企画は、そこから始まったものだったと思う。

事務局

企業との関わりを持ちたいということで、〇〇杯というように企業協賛をもらって競技を行い、企業から賞品を出してもらおうということをしていた。

紹介した木工クラフトなどは、子どもだけでなく、親も夢中になってされていた。

公園ではないが、尼崎21世紀の森構想のエリア内の運河で、ビールを飲んでカラオケを楽しむという大人向けの企画もされている。

**委員**

大人が楽しめることがあれば、子どもがついてくることもあるかと思う。

**会長**

例えば、大阪市のパーク・ファンという事業では、大人だけのカラオケや合唱ということもされていた。健康や福祉系の企画は、大人向けのものが多い。ウォーキングや、車椅子で何かするというような、子どもが参加されないようなイベントもよくある。

プラットフォームでは、あまり大層な事を考えなくてよい。事例の写真を見ていただいてもわかるように、そんなにいっぱい来ていない。少なくとも楽しくする、小さなことをやってみて、それが広がって行けばいいという会議である。

**委員**

この前の意見交換会で、意見を持っている人はたくさんおられたので、そういう人を巻き込めば話ができると思う。まずはするということから始めて、やっていけばできるだろう。

**会長**

話しができれば、できるだけ早く実行に移すということである。

**委員**

子ども向けという固定観念がでないよう、プラットフォームで考える事は、子ども向けに限らず何でもできる、大人向けもできると分かるように説明をお願いしたい。

**会長**

呼びかけ掛け方が大事である。前のヒアリングの時のように、人伝手でいろんな人に声かけてみてということから始めるのか。

**事務局**

最初は、人伝手の方がいいと思っている。

**会長**

協議会の方にも、声かけをお願いしたい。

**事務局**

プレーパークを開催するにあたって、関西福祉大学や市役所などへ伺ったが、駐車場代が500円かかるので、プレーパークやプラットフォームに参加しにくいという事を言われた。県としても、駐車場代をどう扱うか悩んでいる。プレーパークでは、企業協賛をいただけないか検討している。

#### 4. その他

##### (1) デイキャンプについて/事務局

・資料6を説明

**委員**

今日の神戸新聞に載っていたので、申込みが増えるのではないか。

委員

ドリンクメニューは飲み放題なのか。セットは何人前なのか。

事務局

飲み放題ではない。1セットあたり何人前という案内はしておらず、2人で1セットを頼まれるようなこともあるかもしれないが、グループあたり最低2セット以上頼んでいただきたいと案内をしている。

会長

ゴミは持ち帰りになるのか。

事務局

最初は持ち帰りを検討していたが、周りにゴミを捨てられても困るので、ゴミ置き場を設けることにした。

委員

有料でもゴミ袋を買ってゴミを置いて帰れる方が喜ばれる。

会長

今回の社会実験は、指定管理者の事業としてされるのか。

事務局

指定管理者が県から受けて実施する。

会長

民間活力の導入では、これまでどんな事業をやってきたか公開し、データを出して、提案をいただくということが前提になる。今回の社会実験に何人来たかなど、聞かれたらデータを出せるようにしておいていただきたい。成功を祈っている。

## (2) 次回開催について/事務局

- ・次回は12月頃の開催予定で日程調整を行う。

令和5年9月25日(月)に開催された第7回赤穂海浜公園管理運営協議会議事録は、上記の通りであると認め署名する。

議事録署名人

会 長 赤 澤 宏 樹  
委 員 用 岡 一 穂